資料２-２

連携計画の主な変更点（案）

該当部分	変更後	変更前
5 ページ （2）民間路線バスの 2 行目後方から	（文章の追加） 横這い状態となっている。 近年の運行サービスをみると、熊谷駅～本畠の路線や熊谷駅～森林公園駅の一部の路線が廃止され、また籠原駅～深谷日赤の路線が減便されている。一方、熊谷駅～くまがやドームの路線や熊谷駅～籠原駅の路線などでは増便されている。	横這い状態となっている。
6 ページ	（図の追加） 熊谷駅・籠原駅のバス。タクシーのりばの写真を追加掲載しています。	
20 ページ 公共交通利用圏域図	（図の追加） JR 高崎線行田駅、秩父鉄道本線明戸駅（深谷市）の圏域を追加掲載しています。	
66 ページ 計画目標③（枠内）	（文章の変更） 市民自らが過度な自家用車の抑制を意識し、さらに公共交通の存在意義を認識することで、…	市民自らが過度な自家用車による依存型社会の限界と公共交通の存在意義を認識し、…
67,78 ページ さくら号【運行ルート見直し方針】（一つ目の〇）	（文章の変更） 運行ルートは原則現行通りとするが、（削除）バス停の新設・廃止について、関係機関と調整し検討する。	運行ルートは原則現行通りとするが、時間短縮のため、利用者が少ない区間については見直すことも検討する。バス停の新設・廃止について、関係機関と調整し検討する。
70,80 ページ 江南路線の図内 600ｍの円の色	（図の変更） 水色	薄いオレンジ色
70,73,80,81　ページ 路線図の下※について	（文章の追加） ※運行ルートは連携計画策定時のもので、今後バス事業者等関係機関との協議・調整により変更する可能性がある。	
85 ページ 【事業７】①の７行目以降	（文章の追加） さらに高齢社会や環境問題への対応など、公共交通の役割が重要性を増している中で、環境負荷の少ないバス車両の導入などについても研究を進める。	
85 ページ 【事業７】の実施主体 86 ページ ⑦の実施主体	（文言の追加） 埼玉県	